

 PDN Lectures

Chapter2. 経腸栄養

9. 経腸栄養に必要な器具

講師 東京都保健医療公社大久保病院 外科
丸山道生

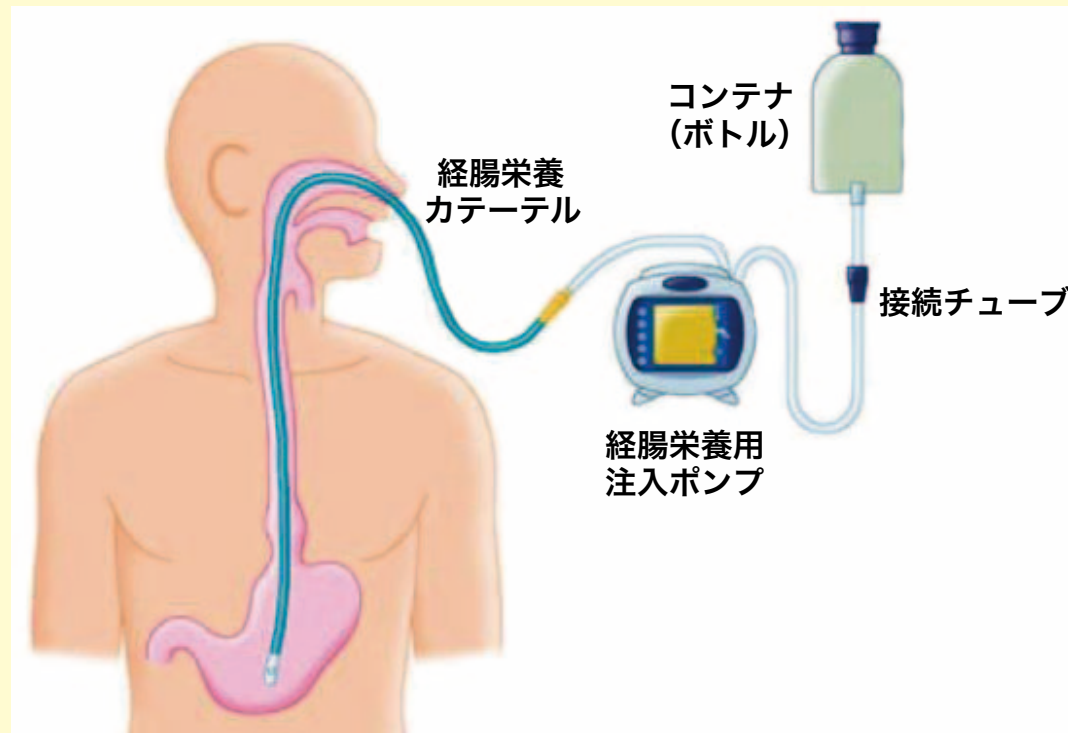
1. 経腸栄養療法に必要な器具

2. 経腸栄養器具の接続部（コネクター）

3. コンテナ（ボトル、バッグ、イルリガートル）

4. 経腸栄養用注入ポンプ

1. 経腸栄養療法に必要な器具



2. 経腸栄養器具の接続部（コネクター）

● 誤接続防止タイプのカテーテルチップ型コネクター



① 経鼻経腸栄養チューブ
のYポートコネクター

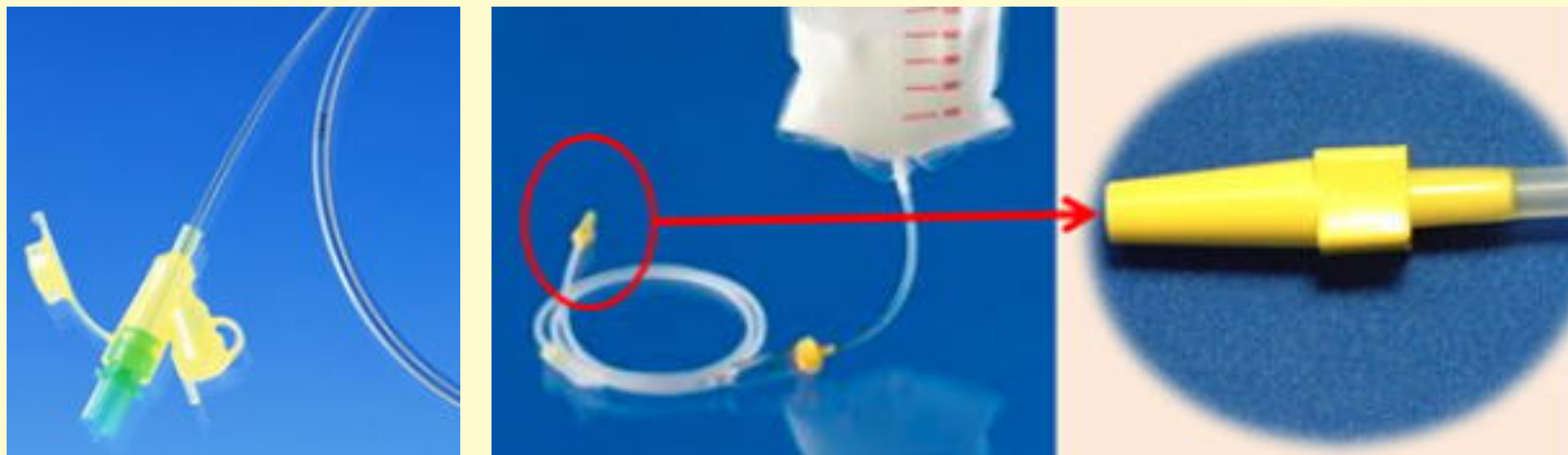


② 誤接続防止用の
シリンジ



③ 誤接続防止用
コネクター

●カテーテルチップタイプの誤接続防止用コネクター



①誤接続防止用コネクター ②誤接続防止タイプのコネクターのついた
のついた経腸栄養チューブ 経腸栄養接続チューブ付き経腸栄養バッグ

3. コンテナ (ボトル、バッグ、イルリガートル)



①柔軟性コンテナバッグタイプ



②硬質コンテナボトルタイプ

● RTH(ready-to-hang)の経腸栄養剤



4. 経腸栄養用注入ポンプ

- より正確な注入量が要求される場合には注入ポンプを使用する。
- 使用により、下痢や嘔吐、誤嚥、および誤嚥性肺炎発症の頻度が低下する。
- 腸瘻や幽門後のアクセスルートを使用する場合は、注入ポンプの使用を原則とする。
- 誤嚥の危険性のある患者には、ボールス投与ではなく栄養剤を少量持続で投与することが望ましく、注入ポンプの適応になる。
- 水分量の制限や、術後などの厳重な投与量の管理が必要な場合も、注入ポンプを用いる。

● 経腸栄養用注入ポンプ

製品	日本コヴィディエン			フレゼニウス スカービ アプリック スマート	ニプロ キャリカ ポンプ CP-330	テルモ テルフィード FE-201
	eポンプ	コントロ ールポンプ	2100型			
流量	1～400ml	1～400ml	1～400ml	1～600ml	10～300ml	1～500ml
積算量	1～3000ml	1～3000ml	1～2000ml	1～5000ml	設定なし	0～9990ml
重量	1.1Kg	1.5Kg	650g	480g	400g	2.2Kg
						